

市議会新体制 !! 全集中で市民の期待にチャレンジ

令和2年第4回定例会最終日(12月16日)に、正副議長をはじめ各常任委員会の委員などが選出され、笠間市議会の体制が新しくなりました。



改修後の正副議長室にて

正副議長あいさつ

笠間市議会 議長 石松 俊雄 (写真左)

笠間市議会 副議長 畑岡 洋二 (写真右)

市民の皆様には、日頃より市議会活動並びに市政全般にわたり、深いご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に、お見舞い申し上げますとともに、医療に従事されている方々をはじめ、感染症対策の最前線の現場でご尽力されている皆様には、心から敬意と感謝を表します。

令和2年第4回笠間市議会定例会におきまして、第9代の議長、副議長に就任いたしました。正副議長共に力を合わせ、中立的かつ公平に職務を遂行するとともに、民主的で効率的な議会運営に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大の収束がなかなか見えない中、笠間市においても甚大な影響が出ております。生活支援や経済対策はもちろん、教育や健康二次被害など様々な課題に対して、市民の皆様の声や想いをきめ細かく丁寧に向い、市政に反映していくことが求められています。議会の果たす役割は一層重要になっています。

笠間市議会では、これまでも議会改革を進めてまいりました。今般の庁舎大規模改修でも、二元代表制を具現化した「対面式議場」への改築や電子採決システムの導入、委員会室や傍聴席の拡充などを実現しました。

共に市民を代表する市長と市議会が、緊張関係を保ちながら対等の機関として、市長の執行権を監視し、積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となることが二元代表制の本来の在り方です。市議会が対等に市長と対峙するには、議会としての意見を持たなければなりません。そのため議員間の自由闊達な討議を通じ、論点を明らかにしながら、議会としての一致点を見出してまいります。

そして今回のような感染症拡大にも対応できる「議会業務継続計画」や、「議会基本条例」の制定など、市民に見える議会、市民から信頼される議会になるよう努力を続けてまいります。

市民の皆様におかれましては、今後とも議会に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。